

函館税関管内における関税法違反事件の概要 (平成21年分)

平成22年2月
函 館 税 関

1. 関税法違反事件の摘発状況

平成21年に摘発した関税法違反事件のうち、社会悪事犯は16件であり、その全てが不正薬物事犯である。種類別には、覚せい剤事犯が6件、大麻事犯9件、けしがら事犯1件となっている。

【函館税関管内における社会悪事犯摘発件数】

平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
16件	19件	14件	16件

2. 告発処分状況

平成21年に告発した件数は17件であり、不正薬物事犯が14件、不正商品事犯3件である。

【函館税関管内における告発処分件数】

平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
10件	16件	12件	17件

3. 主な摘発、処分事例

<空港>

・ 新千歳空港 平成21年 6月摘発 覚せい剤 約6.7KG

平成21年6月、ベトナムからインチョン国際空港を経由して新千歳空港に帰国した日本人女性の携帯品検査において、スーツケースを二重工作して隠匿していた覚せい剤約2.8kgを摘発、その後、同行者の日本人男性のスーツケース（二重工作）からも覚せい剤約3.9kgを摘発。

・ 新千歳空港 平成21年 1月摘発 覚せい剤 約2KG

平成21年1月、香港から新千歳空港に入国した台湾人男女2名の携帯品検査において、スーツケースを二重工作して隠匿していた覚せい剤約1kgをそれぞれ摘発。

<港>

・ 小樽港 平成21年11月摘発 覚せい剤 約3KG

平成21年11月、関係機関と連携の下、ロシアから小樽港に入港したロシア籍貨物船のロシア人乗組員が、上陸した際に身辺等に隠匿していた覚せい剤約1.1kg及び同人の船室に隠匿していた覚せい剤約1.9kgを摘発。

<国際郵便>

・ 盛岡市 平成21年10月告発 大麻樹脂 約1.2KG

平成21年7月、インドから盛岡市内宛て送られてきた国際郵便内に隠匿されていた大麻樹脂約1.2kgを東京税関職員が発見し、函館税関が岩手県警本部及び盛岡東警察署と共同で事件調査し、同年10月、密輸しようとした日本人男性3名を盛岡地方検察庁に告発。

更に、インドから大麻樹脂を送った日本人男性1名についても、同年12月に告発。

4. その他の摘発事例

・ 商標権侵害物品の密輸入

所謂コピー商品の密輸入であり、国際スピード郵便物内にコピー商品であるバッグや財布等を隠匿し、日本国内に持ち込もうとした事犯である。

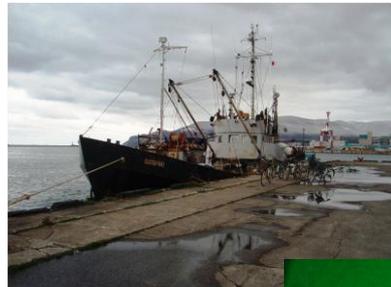
・ けしがらの密輸出

船舶乗組員が、日本国内に自生しているけしがらを自国に持ち帰るため、自身が乗船する船舶へ当該けしがらを積み込もうと運搬しているところを発見した事犯である。

平成21年1月、香港から新千歳空港に入国した台湾人男女2名の携帯品検査において、スーツケースを二重工作して隠匿していた覚せい剤約1kgをそれぞれ摘発。



平成21年11月、関係機関と連携の下、ロシアから小樽港に入港したロシア籍貨物船のロシア人乗組員が、上陸した際に身边等に隠匿していた覚せい剤約1.1kg及び同人の船室に隠匿していた覚せい剤約1.9kgを摘発。



平成21年7月、インドから盛岡市内宛て送られてきた国際郵便内に隠匿されていた大麻樹脂約1.2kgを東京税関職員が発見し、岩手県警本部及び盛岡東警察署と共同で事件調査し、同年10月、密輸しようとした日本人男性3名を盛岡地方検察庁に告発。



更に、インドから大麻樹脂を送った日本人男性1名についても、同年12月に告発。

